

教育福島 '84 11月号

目次

—表紙絵・米倉 兌・おくの細道墨彩展図録より—

巻頭言	福島県高等学校長協会長 大槻 進	5
提言	福島県合唱連盟理事長 石河 清	6

特集 福利厚生の実践 8

昭和59年度福島県視聴覚教育研究大会		22
随想		23
告知板	秋の叙勲・ほか	30
図書館コーナー	天海の収書	31
わたしの研究実践	習熟度に応じた効果的学習指導・双葉高等学校	32
まちからむらからこんにちは	放送を利用した家庭教育学級・双葉町教育委員会	36
教育センターから	図画工作講座の紹介	38
昭和59年度教育広聴会の概要		40
昭和59年度教育・文化関係授賞式より		42
国民体育大会開催さる		44
知っておきたい教育法令	学校施設の利用	45
美術館だより	収蔵作品紹介・ほか	46
学校紹介		47
ふるさと探訪	木造阿弥陀如来立像・いわき市	49
羅針盤	社会体育施設教	50
お知らせ		51



近年におけるコンピューターの進歩はめざましい。

県教育センターでは、技術立県の推進をめざし情報処理教育の拡充強化に当たっている。

10月12日（金）聖光学院高等学校電気科3年生が当センター自慢の大型電子計算機（FACOM, M340）を利用して実習に取り組んでいた。TSS端末に向い真剣にキーボードを打つ姿には未来のコンピューター技術者の雰囲気がある。